

第9回 IT を活用した教育センターワークショップを開催して



昭和大学歯学部 歯学部長 宮崎 隆

平成 24 年度から文部科学省の大学間連携共同教育推進事業として進めている「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」プログラムの「第 9 回 IT を活用した教育センターワークショップ」を、平成 28 年 6 月 23 日に、昭和大学旗の台校舎 1 号館 6 階会議室で開催しました。

本事業は、北海道医療大学ならびに岩手医科大学、さらに北海道歯科医師会、札幌歯科医師会、岩手県歯科医師会、盛岡市歯科医師会、大森歯科医師会、蒲田歯科医師会、目黒区歯科医師会、品川歯科医師会、荏原歯科医師会との連携のもとに着実に事業を進めてきました。今回のワークショップには、連携大学ならびに連携歯科医師会からの参加者に加えて、お世話になっている IT 企業からの参加を含めて 50 名強の参加者がありました。

早いもので、本事業は、5 年間の事業計画の最終年度になりました。文部科学省からの中間評価では総括評価 A（優れている）を受け、各大学では実際の授業において本事業で作成した IT 教材を活用しています。さらに、3 大学の学生交流を進めてきました。

今回のワークショップでは、午前中に現在までの各大学の取組の概要を紹介し、e-ラーニングのさらなる活用について意見交換をしました。午後には本事業のゴールである「超高齢社会における歯科医師の養成と IT 教材の活用」について、今後の展望を含めて討論しました。そして、補助金終了後の取組について協議し、引き続き連携大学が協力して取組を継続する方針を固めました。

連携大学の学生が本事業の IT 教材を活用して力を身につけ、卒業後、地域社会で超高齢社会の歯科医療に貢献することを期待しています。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生がた、そしてワークショップの運営にご尽力いただいた教育センター、協力 IT 企業、ならびに各大学の事務関係者に篤く御礼申し上げます。